

作成日 2024年 8月 17日

(臨床研究に関するお知らせ)

眼内炎で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

和歌山県立医科大学附属病院における眼内炎の原因と治療方法・治療成績の検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学眼科学講座 助教 鈴木 映美

3. 研究の目的

眼内炎はその発症頻度は少ないもの、発症した場合は難治性で重篤な視力低下を残すこともある眼科領域において重要な疾患です。眼内炎は大きく内因性眼内炎と外因性眼内炎に分けられ、内因性眼内炎は主に全身の免疫不全状態や感染性疾患に起因して起こるとされています。対して、外因性眼内炎の原因としては外傷や手術などの外的な影響があります。眼内炎、特に術後眼内炎は外因性眼内炎の主なものです。本研究では特に術後眼内炎に注目し、診療録をもとに原因別に検討します。これにより今後の治療方針の決定や予後推定のさらなる精度向上により、患者の残存視機能の維持向上につなげることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

眼内炎の患者さんで、2014年7月1日から2024年6月30日までの期間中に、眼内炎の治療（検査）を受けた方

(2) 研究期間

研究実施許可日～2026年3月31日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、自覚症状、既往歴、眼科手術既往の有無（手術歴がある場合は合併症の有無も含む）、視力、眼圧、光干渉断層計所見、眼底所見、蛍光眼底撮影検査所見、診断名、治療方法、治療期間、試料の培養結果に関する情報です。

(5) 方法

診療録の情報をもとに、眼内炎の原因と症状、検査所見、治療方法について検討します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学眼科学講座

担当者：鈴木 映美

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0649 FAX：073-448-1991

E-mail：e-suzuki@wakayama-med.ac.jp